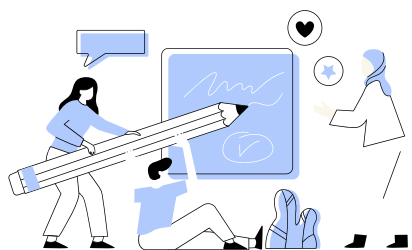


まちづくりに関心ありますか？

在学中に地方公務員 「地域おこし協力隊」として働いてみる

1 地域おこし協力隊とは



都市部の人たちが、1～3年間、過疎化の進む地域に住み、「協力隊員」＝公務員としてまちおこしに取り組む制度です。

2 鹿児島県いちき串木野市で



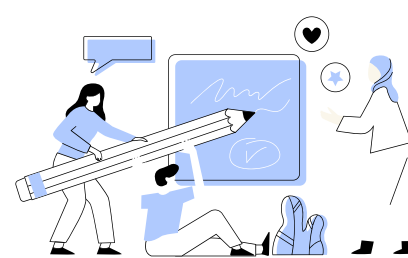
地球市民学部は、鹿児島県いちき串木野市と協定を結び、在学中に地域おこし協力隊として学生を派遣することにしました。

3 4年生は1年間の正式派遣



3年生は1か月間のインターン（活動費が支給されます）、4年生は1年間、正式な協力隊員として派遣されます（報酬と活動費が支給されます）。

4 広報の仕事をまかされます



担当するのは、まちの広報の仕事です。市民取材して広報誌をつくったり、観光のPRをしたりします。若者の目線が期待されています。

5 市の職員のパートナーとして



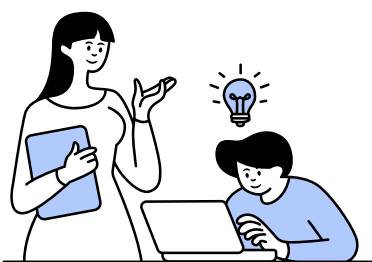
市の職員から、丁寧な指導や支援が受けられます。一方で、社会人として、また、パートナーとして、仕事の成果が求められます。

6 しっかり研修して現場へ



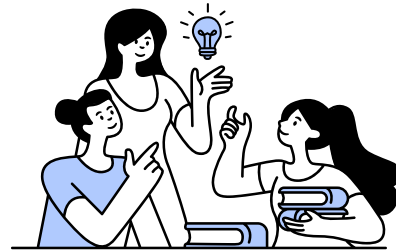
現場の公務員の仕事をこなすためには、トレーニングが必要です。派遣を希望する学生は、1年次から研修を受けます。

7 研修に参加するには選考も



研修に参加する際にも、選考があります。志望動機、研修への意欲、まちづくりへの関心などが選考のポイントです。

8 入試で「派遣優遇枠」獲得を



入試で「派遣優遇枠」を獲得した人は、選考なしで研修に参加できます。派遣の選考でも加点されます。総合型選抜10月2期入試が対象です。

9 先輩が活躍しています



鹿児島県いちき串木野市では、卒業生が、地域おこし協力隊として活躍しました。今はデザイン会社を起こし、市の仕事をまかされています。

10 唯一無二のキャリアを



在学中に、公務員としてのキャリアを積める大学は、ほかにはないと思います。ぜひ、このチャンスを使ってみてください。